

鹿島

鹿島古墳群は、荒川右岸の河岸段丘上に位置し、北側を荒川、西側を吉野川、南を旧河道の低地によって区切られた、東西1.4キロメートル・南北300mに構築された単内有数の大規模な古墳群である。

古墳はかつて100基以上あったといわれ、現在埼玉県指定史跡として56基が保存されている。古墳群は直径10～30mの小内墳によって構成され、埋葬施設は胴張りの横穴式石室である。

鹿島古墳群は埴輪を持たないこと、7世紀後半の住居跡を壊して作った古墳があることから6世紀後半から8世紀初頭まで築造した終末期古墳に位置づけられている。

平成4年度から史跡指定地の整備を始め、圍柵・案内板やトイレ・駐車場整備を行った。



・標高差約10m
・副葬品発掘調査範囲約100m
・概算敷地面積約1000m²

埼玉県指定史跡

鹿島古墳群



深谷市教育委員会

深谷市



荒川

白鳥飛来地

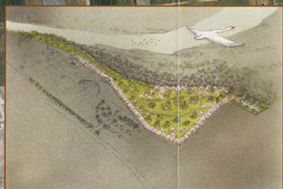
埼玉県指定史跡
「鹿島古墳群」



白鳥飛来地

手洗所 トイレ

県道富田・熊谷線



整備員観

昭和45年に県営は場整備事業に伴い27基の古墳が発掘調査された。石室は砂岩質の河原礫で側壁は積まれており、奥壁や天井石には緑泥片岩の板石が用いられている。出土遺物は少量で直刀・鉄鏃等の鉄製品が主体で、玉類は出土しなかった。